



2019年6月期 第3四半期決算短信(日本基準)(連結)

2019年5月9日

上場会社名 協立電機株式会社

上場取引所 東

コード番号 6874 URL <http://www.kdwan.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 西 信之

問合せ先責任者 (役職名) 執行役員管理本部長 (氏名) 平井 伸太郎

TEL 054-288-8899

四半期報告書提出予定日 2019年5月10日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2019年6月期第3四半期の連結業績(2018年7月1日～2019年3月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2019年6月期第3四半期	26,839	9.9	1,887	34.5	1,938	29.5	1,292	35.6
2018年6月期第3四半期	24,422	4.7	1,403	20.2	1,497	19.2	952	7.7

(注) 包括利益 2019年6月期第3四半期 1,344百万円 (21.0%) 2018年6月期第3四半期 1,111百万円 (15.8%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2019年6月期第3四半期	321.05	
2018年6月期第3四半期	236.80	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2019年6月期第3四半期	24,501	12,223	47.9
2018年6月期	22,117	11,088	48.2

(参考) 自己資本 2019年6月期第3四半期 11,727百万円 2018年6月期 10,656百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2018年6月期		0.00		50.00	50.00
2019年6月期		0.00			
2019年6月期(予想)				55.00	55.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2019年6月期の連結業績予想(2018年7月1日～2019年6月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	35,500	7.5	2,200	28.1	2,200	20.6	1,350	32.1	335.46

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- | | |
|--------------------|-----|
| 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 | : 無 |
| 以外の会計方針の変更 | : 無 |
| 会計上の見積りの変更 | : 無 |
| 修正再表示 | : 無 |

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2019年6月期3Q	4,369,200 株	2018年6月期	4,369,200 株
期末自己株式数	2019年6月期3Q	344,821 株	2018年6月期	344,760 株
期中平均株式数(四半期累計)	2019年6月期3Q	4,024,419 株	2018年6月期3Q	4,024,470 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P3「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	8
(追加情報)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間における我が国経済は、米国や中国の経済減速の影響が次第に我が国まで及びはじめ、その影響を受けた一部業種では業況の悪化が見られましたが、経済全般に及ぶことなく、多くの業種で好調を維持して、総じて拡大基調にて推移しました。

当社グループとしましては、守備範囲としているインテリジェントFAシステムビジネスにおいて、IoTを始めとしたイノベーションが活性化し新規のビジネスが急速に拡大しており、また人手不足が深刻化する環境下での省力化投資によるロボットに対する需要拡大、さらにはロボットの作業範囲を広げるAIの進展等、非常に強い追い風が吹きました。また、当社グループの有力客先である日系製造業の海外投資は引続き活発であり、海外で発生する新規事業を取り込み15年以上も前から整備・拡大してきた海外ネットワークを活かした海外ビジネスも拡大の一途を辿りました。

これらの結果、当第3四半期連結累計期間における売上高は268億39百万円（前年同四半期比9.9%の増）となり、損益面としましては営業利益が18億87百万円（同34.5%の増）、経常利益が19億38百万円（同29.5%の増）、親会社株主に帰属する四半期純利益が12億92百万円（同35.6%の増）となり、売上高及び全損益項目において第3四半期連結累計期間としての過去最高の金額となりました。

なお、当社のセグメント別概況は次のとおりです。

<インテリジェントFAシステム事業>

インテリジェントFAシステム事業では、IoTを活用した設備投資の増大により各種検査装置が好調だったこと、2年前から開始した水質検査ビジネスが急拡大していること等より順調に推移したため、増収・大幅増益となりました。

以上の結果、インテリジェントFAシステム事業の当第3四半期連結累計期間における売上高は86億30百万円（前年同四半期比2.0%の増）、営業利益は9億53百万円（同45.9%の増）となりました。

<IT制御・科学測定事業>

当事業のうちIT制御は主として製造業の合理化・研究開発の自動化等を目的とした設備投資の対象であるため、比較的景況の影響を受け易い傾向にあります。一方、当事業でも科学測定事業は科学分析・計測機器等に代表される企業の新製品開発を目的とする部門や品質管理部門を対象とするため、景気動向に左右されにくく安定的な分野であります。当第3四半期連結累計期間は、科学分析機器や輸送機業界の生産好調に牽引されたコンポーネント機器及びメカトロニクスビジネス等が特に好調で、前年同期に比べ大幅な増収・増益となりました。

以上の結果、IT制御・科学測定事業の当第3四半期連結累計期間における売上高は181億76百万円（前年同四半期比14.1%の増）、営業利益は11億78百万円（同16.4%の増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末における資産の合計額は245億1百万円で、前連結会計年度末に比べ23億84百万円の増加となりました。これは主として受取手形及び売掛金と電子記録債権を合わせた売上債権が26億26百万円増加したこと等によるものであります。

負債につきましては、負債の合計額が122億78百万円で、前連結会計年度末に比べ12億50百万円の増加となりました。これは主として支払手形及び買掛金と電子記録債務を合わせた仕入債務が13億42百万円増加したこと等によるものであります。

純資産につきましては、純資産の合計額が122億23百万円で、前連結会計年度末に比べ11億34百万円の増加となりました。これは主として親会社株主に帰属する四半期純利益等により利益剰余金が10億90百万円増加したこと等によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

我が国経済の状況は、米中経済摩擦等、海外経済に起因した懸念材料があるものの現状はその負の影響が顕在化されておらず、米国経済はじめ世界経済が順調に拡大基調を続けていることの恩恵を受けていることもあり、我が国経済はしっかりした足取りで推移しています。

足元の日本経済では労働力の不足が深刻化しており、省力化システムの導入とAI、ロボットとのコラボによる作業範囲の拡大・高度化、IoTの普及等新技術の出現によるシステムの高度化・効率化等が革命的に進行しています。これらは当社グループが従来推し進めてきたインテリジェントFAビジネス自体に属し、当社グループビジネスの中核部分で起きている変革であることから、当社グループにとっては技術革新によって創造される新規ビジネスが次々と生まれる状況にあり、このことが当社グループの業績を大きく押し上げているのと同時に、今後もさらに拡大されていくものと考えられます。

当連結会計年度では親会社である当社の業績がインテリジェントFAシステム事業を中心に大幅に伸張したのに加え、メカトロニクスやコンポーネントビジネスが好調でこれらの子会社も業績を伸ばしているため、業績全般において当初予想を上回って推移しており、2019年6月期の連結業績予想につきましては、本日公表した修正業績予想の数字になるものと予想しております。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2018年6月30日)	当第3四半期連結会計期間 (2019年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,434,365	1,266,105
受取手形及び売掛金	9,609,479	11,650,134
電子記録債権	2,326,115	2,911,592
有価証券	112,746	-
商品及び製品	562,951	527,106
仕掛品	414,082	368,936
原材料	485,899	491,372
その他	191,226	331,954
貸倒引当金	△230,362	△286,778
流動資産合計	14,906,505	17,260,423
固定資産		
有形固定資産		
土地	3,949,870	3,932,360
その他(純額)	1,082,669	1,078,719
有形固定資産合計	5,032,539	5,011,079
無形固定資産		
	78,201	99,069
投資その他の資産		
投資有価証券	1,616,001	1,677,325
その他	633,096	598,284
貸倒引当金	△149,317	△144,501
投資その他の資産合計	2,099,779	2,131,108
固定資産合計	7,210,520	7,241,257
資産合計	22,117,026	24,501,681
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	6,391,698	7,657,303
電子記録債務	1,247,122	1,323,563
短期借入金	-	100,000
1年内返済予定の長期借入金	1,100,000	400,000
未払法人税等	432,818	353,437
賞与引当金	149,372	303,300
役員賞与引当金	46,900	-
その他	747,837	552,422
流動負債合計	10,115,749	10,690,027
固定負債		
長期借入金	600,000	1,300,000
退職給付に係る負債	205,466	205,136
その他	107,188	83,401
固定負債合計	912,654	1,588,538
負債合計	11,028,403	12,278,566

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2018年6月30日)	当第3四半期連結会計期間 (2019年3月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,441,440	1,441,440
資本剰余金	1,872,079	1,872,079
利益剰余金	7,521,500	8,612,309
自己株式	△424,300	△424,422
株主資本合計	10,410,719	11,501,406
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	246,269	225,777
その他の包括利益累計額合計	246,269	225,777
非支配株主持分	431,633	495,930
純資産合計	11,088,622	12,223,114
負債純資産合計	22,117,026	24,501,681

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自2017年7月1日 至2018年3月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自2018年7月1日 至2019年3月31日)
売上高	24,422,984	26,839,227
売上原価	20,208,627	22,079,737
売上総利益	4,214,356	4,759,489
販売費及び一般管理費	2,811,148	2,871,531
営業利益	1,403,207	1,887,958
営業外収益		
受取利息	4,392	3,131
受取配当金	10,857	11,785
仕入割引	29,409	30,772
為替差益	-	10,998
補助金収入	68,071	-
雑収入	14,479	14,240
営業外収益合計	127,209	70,928
営業外費用		
支払利息	5,401	4,256
手形売却損	1,393	-
売上割引	2,710	3,348
デリバティブ損失	-	7,386
貸倒引当金繰入額	18,625	-
雑損失	4,986	5,581
営業外費用合計	33,117	20,572
経常利益	1,497,299	1,938,314
特別利益		
固定資産売却益	585	32,815
投資有価証券売却益	86,275	40,496
保険解約返戻金	-	11,686
特別利益合計	86,860	84,998
特別損失		
固定資産除却損	493	8,774
投資有価証券評価損	-	36,972
事務所移転費用	7,259	-
特別損失合計	7,752	45,747
税金等調整前四半期純利益	1,576,407	1,977,565
法人税等	554,577	620,905
四半期純利益	1,021,830	1,356,660
非支配株主に帰属する四半期純利益	68,835	64,628
親会社株主に帰属する四半期純利益	952,995	1,292,031

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2017年7月1日 至 2018年3月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2018年7月1日 至 2019年3月31日)
四半期純利益	1,021,830	1,356,660
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	89,375	△12,348
その他の包括利益合計	89,375	△12,348
四半期包括利益	1,111,206	1,344,312
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,039,792	1,271,539
非支配株主に係る四半期包括利益	71,414	72,772

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

当連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法を採用しております。

(追加情報)

「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」(企業会計基準第28号 2018年2月16日)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、繰延税金資産は投資その他の資産の区分に表示し、繰延税金負債は固定負債の区分に表示しております。

(セグメント情報等)

前第3四半期連結累計期間(自 2017年7月1日 至 2018年3月31日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			その他	合計
	インテリジェントFAシステム事業	IT制御・科学測定事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	8,465,238	15,926,327	24,391,565	31,418	24,422,984
セグメント間の内部売上高又は振替高	248,622	396,965	645,587	52,074	697,661
計	8,713,860	16,323,292	25,037,153	83,493	25,120,646
セグメント利益	653,350	1,012,132	1,665,482	70,209	1,735,692

(注) 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、不動産賃貸等を含んでおります。

2 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位：千円)

利益	金額
報告セグメント計	1,665,482
「その他」の区分の利益	70,209
全社費用(注)	△332,484
四半期連結損益計算書の営業利益	1,403,207

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

当第3四半期連結累計期間(自 2018年7月1日 至 2019年3月31日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			その他	合計
	インテリジェントFAシステム事業	IT制御・科学測定事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	8,630,474	18,176,153	26,806,628	32,598	26,839,227
セグメント間の内部売上高又は振替高	378,092	493,333	871,426	51,831	923,257
計	9,008,567	18,669,487	27,678,054	84,429	27,762,484
セグメント利益	953,350	1,178,253	2,131,604	73,866	2,205,470

(注) 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、不動産賃貸等を含んでおります。

2 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位：千円)

利益	金額
報告セグメント計	2,131,604
「その他」の区分の利益	73,866
全社費用(注)	△317,512
四半期連結損益計算書の営業利益	1,887,958

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。